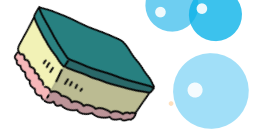


軟質発泡材料の抗菌試験が JIS規格として制定されました



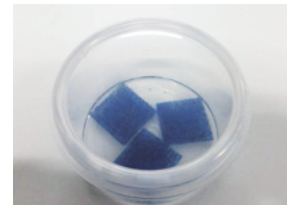
2018年8月20日にJIS K 6400-9「軟質発泡材料—第9部:抗菌効果の求め方」が制定されました。この規格は、連続気泡構造をもつ軟質発泡材料(スポンジ等)の表面における細菌に対する抗菌効果の求め方について規定されています。

これまではスポンジ製品を対象とした規格として、一般社団法人抗菌製品技術協議会(以下、SIAA)により規定された協議会法であるSIAAシェーク法が幅広く用いられていました。本JIS規格は、そのSIAAシェーク法をベースとして制定されたJIS規格となります。

このJIS規格は一般社団法人日本ゴム工業会が中心となり、規格作成の検討が行われました。また、同団体が組織した試験方法検討ワーキングにはボーケンも参画し、試験機関としての立場からJIS制定のための活動を支援しました。

試験概要

- 1 20mm×20mm×3mmにカットしたものを3個/1検体(外周表面積が $32\pm 5\text{cm}^2$)として試料採取を行う。
- 2 採取した試料を試験用滅菌カップに入れ、 $1.0\times 10^4\sim 5.0\times 10^4\text{cells/ml}$ に調製した試験菌液10mlを接種する。
※規定されている菌株は黄色ブドウ球菌、大腸菌の2菌種
- 3 菌液接種後、振盪機に設置し $35\pm 1^\circ\text{C}$ 、24時間振とう($150\pm 10\text{rpm}$)を行う。
- 4 24時間振盪後、試験用カップ内の生菌数を測定し、無加工試料と加工試料の生菌数の差から抗菌活性値を算出する。



試料採取時の様子

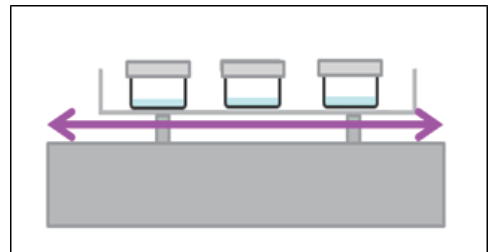


図: 24時間振盪時の様子

試験基準

抗菌活性値が2.0以上のとき、抗菌剤を用いた抗菌加工材料は、抗菌効果があるものと判断する。(JIS K 6400-9、4項より抜粋)

ボーケンではこれからもグローバル総合試験機関として、試験サービスの更なる提供に努めてまいります。

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

大阪事業所

担当: 福島、室巻

〒552-0021
大阪市港区築港1丁目6番24号
TEL 06-6577-0200 (代表) FAX 06-6577-0210

上海試験センター

(上海愛麗紡織技術檢驗有限公司)

担当: 川畑

〒200333
上海市普陀区中江路879号18号楼4楼
TEL 021-5283-0011 (代表) FAX 021-5283-6061